COMPAQ

Software Product Description

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2-6 ソフトウェア仕様書

SPD 28.A8.07

この仕様書は，次の 2 つのソフトウェア製品について説明します。

- 日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS VAX V1.2–6
- 日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha V1.2–6

「製品の説明」の項では両製品に共通の機能について説明しています。両者に違いがある場合は特に明記してあります。

製品の説明

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS (DECwindows Motif) デスクトップ環境は，Motif をベースとした，日本語 Compaq OpenVMS Alpha オペレーティング・システムおよび日本語 Compaq OpenVMS VAX オペレーティング・システム用のグラフィカル・ユーザ・インタフェース (GUI) です。このインタフェースではマウスを使用することによって，日本語 OpenVMS Alpha および日本語 OpenVMS VAX との対話的処理ができるようになっています。 DECwindows にはデスクトップ・アプリケーションが統合されており，OpenVMS ユーザに基本的なデスクトップ・ツールを提供します。各アプリケーションを使用することによって，このユーザ・インタフェースの優れた操作性をご理解いただくことができます。

日本語 DECwindows Motif for OpenVMS Alpha には，CDE (共通デスクトップ環境) 仕様から派生した，New Desktop 環境が提供されています。 CDE は複数のプラットフォーム間で，エンド・ユーザおよびアプリケーション開発者用の一貫したユーザ・インタフェースを定義し，提供するものです。

旧バージョンの DECwindows Motif の GUI も継続して使用することができます。これを DECwindows デスクトップと呼びます。 OpenVMS VAX システムでは，DECwindows デスクトップだけしか提供されていません。 OpenVMS Alpha システムでは，省略時にどちらのデスクトップを起動するかを選択することができます。また，DECwindows の再起動時にもデスクトップを切り替えることができます。

New Desktop および DECwindows デスクトップは，業界標準として広範に認められた GUI である OSF/Motif を採用したものです。

DECwindows デスクトップには，Motif および XUI の 2 つのウィンドウ・マネージャが提供されており，簡単に切り替えることができます。生産性を向上する DECwindows アプリケーションは Motif ツールキットを使用しますが，XUI ウィンドウ・マネージャとともに動作することもできます。

日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2–6 のレイヤード製品は，CDE Motif 1.0 ツールキット (OSF/Motif リリース 1.2.5) と X コンソーシアム仕様 X Window System V 11 リリース 5 (X11 R5) の実行時サポート，プログラミング・サポートを提供しています。また，OSF/Motif リリース 1.1.3 および XUI ツールキット，X11 R4 の実行時サポートを提供しています。

DECwindows Motif の旧バージョンで提供されていた OSF/Motif リリース 1.2.2，1.2.3 の各ツールキット用に開発されたプログラムは，CDE Motif 1.0 ツールキットとの互換性を持っています。すなわち，システム固有のアプリケーションを含む XUI および Motif のアプリケーションを実行することができます。さらに，OpenVMS Alpha システムでは，変換アプリケーションを実行することもできます (変換アプリケーションの

2001 年 7 月
AE–PVF6E–TE

実行についての詳細は，本書の「変換イメージ環境」の項を参照してください)。

DECwindows Motif の一環としてサポートされている X Window System 規格には，X11 ネットワーク・プロトコル，ワークステーション用の基本フォント・セット，Xlib プログラミング・ライブラリおよび X ツールキット・ライブラリ用の C 言語バインディングが含まれています。

クライアント・ライブラリの X11 ネットワーク・プロトコルのサポートおよびディスプレイ・サーバ構成要素により，OpenVMS VAX および OpenVMS Alpha の両オペレーティング・システムでの，分散ネットワークに接続されている他の X11 準拠のシステムとの相互運用性を提供します。

DECwindows Motif は，X Window System に固有のクライアント/サーバ分散システムをサポートしています。クライアント/サーバ・モデルの各ノード間で通信を行うトランスポート機能により，X Window System のクライアントを 1 つのノードで実行し，その出力を別のノードに表示することができます。日本語 DECwindows Motif V1.2–6 は，ローカル共有メモリ，DECnet，TCP/IP (弊社の日本語 Compaq TCP /IP Services for OpenVMS，または MultiNet などの他社製品を使用) の 3 種類のトランスポート・インタフェースを提供します。また，ユーザ独自のトランスポート・サブシステムおよびトランスポート・インタフェースを組み込むこともできます。

別売の DECwindows Motif アプリケーションあるいは X アプリケーションを，DECwindows Motif システムで実行可能であるかどうか不明の場合は，各アプリケーションの『ソフトウェア仕様書』を参照してください。

基本的な構成要素

DECwindows Motif のユーザ環境には，次の 4 つの基本的な構成要素があります。

- セッション・マネージャ

セッション・マネージャは，DECwindows ワークステーションで最上位のユーザ・インタフェースとなります。セッション・マネージャからアプリケーションの起動，セッションのカスタマイズ，セキュリティ管理が可能です。さらに，セッション・マネージャでは，英語以外の DECwindows Motif 各国語キットをご注文いただき，これをインストールし，使用ライセンスを登録している場合，サポートされている DECwindows アプリケーション用のユーザ・インタフェース言語を指定することもできます。

各国語に翻訳されている DECwindows Motif のデスクトップ・アプリケーションのユーザ・インタフェースについての詳細は，その各国語キットの『ソフトウェア仕様書』を参照してください。DECwindows Motif 各国語キットの『ソフトウェア仕様書』では，各国語キットに含まれているその国独自のハードウェアおよびソフトウェアのサポートについても説明しています。

- ウィンドウ・マネージャ

ウィンドウ・マネージャで，ウィンドウのサイズの変更，ウィンドウの移動が可能です。OSF/Motif のウィンドウ・マネージャが標準のウィンドウ・マネージャになっていますが，代わりに，DECwindows XUI ウィンドウ・マネージャを選択することもできます。ウィンドウ・マネージャは，ユーザ毎に個別に選択することもできますし，システム管理者によりシステム全体で有効なものを選択することもできます。

- ファイルビュー

OpenVMS ファイル・システムの GUI であるファイルビューにより，ファイル・システム内の自由な移動，および操作が可能です。

- 漢字端末エミュレータ

漢字端末エミュレータは VT320 端末エミュレータであり，ワークステーションで従来の文字セル・インタフェースによる既存の OpenVMS 機能およびアプリケーションを利用できるようにします。これは，ReGIS および sixel に対応していますが，VT340 とは完全な互換性がありません。VT52，VT100，VT220，VT320 クラスの端末用に作成され，OpenVMS 端末ドライバ機能を使用しているプログラムは，変更を加えなくても漢字端末エミュレータのウィンドウで動作させることができます。漢字端末エミュレータには，マウスによるカーソルの位置合わせ，変更可能な画面サイズ，漢字端末エミュレータおよび他の DECwindows Motif アプリケーション間でのテキストのカット・アンド・ペーストなど，ワークステーション指向の各機能も提供されています。

日本語 OpenVMS VAX V5.5–2 対応

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS VAX V1.2–5 以降は日本語 OpenVMS VAX V5.5–2 に対応しています。

それまで日本語 OpenVMS VAX V5.5–2 で使用可能な日本語 DECwindows Motif は V1.0，V1.1*および V1.2–4A でした。それ以外の V1.2，V1.2–3 および V1.2–4 は日本語 OpenVMS VAX V5.5–2 に対応していませんでした。

西暦 2000 年以降も日本語 OpenVMS VAX V5.5–2 上で日本語 DECwindows Motif をご使用になる場合は，V1.2–4A に西暦 2000 年対応パッチを適用するか，西暦 2000 年に対応している本バージョンの日本語 DECwindows Motif をご使用ください。

Extended File Specifications (Alpha のみ)

Extended File Specifications (EFS) は，オプションとして，OpenVMS のファイル名と属性を，Microsoft Windows のファイル名と属性に一致するように拡張します。EFS は，Compaq Advanced Server for OpenVMS と一緒に使用することにより，OpenVMS システムが，Microsoft Windows クライアントに対して，完全なファイル・サーバとして機能できるようにします。さらに，EFS を使用すると，OpenVMS システムの管理者は，OpenVMS のアカウントから Microsoft Windows のファイルに対して OpenVMS システム管理機能を実行することができます。この機能は，主に Compaq Advanced Server for OpenVMSで使用するためのものですが，DCL コマンドのサブセットを使用して，EFS ファイル名を作成したり操作したりすることができます。これらのコマンドの一覧については，OpenVMS オペレーティング・システムに関するドキュメントを参照してください。

New Desktop (Alpha のみ)

New Desktop 環境は，CDE (共通デスクトップ環境) 仕様から派生したものです。CDE は，CDE Motif 1.0 ツールキット (OSF/Motif リリース 1.2.5) および X11 R5 をベースにした完全なデスクトップ環境を提供します。

New Desktop は，CDE 仕様のユーザ・インタフェースおよびエンド・ユーザの操作環境に重点を置いています。New Desktop を使用する場合は，OpenVMS Alpha V6.2 以降のバージョンが必要です。

起動時に DECwindows Motif ログイン・ボックスあるいは New Desktop ログイン・ボックスのいずれかが表示されます。インストレーション後は，いつでもデスクトップを切り替えることができます。

New Desktop で既存の OSF/Motif リリース 1.2.3 アプリケーションを実行するために，既存のアプリケーションの再コンパイルおよび再リンクを行う必要はありません。また，アプリケーションのソース・コードを変更することなく，New Desktop に対する既存のアプリケーションの基本的な統合を行うことができます。

次の CDE 構成要素が，本リリースの New Desktop に組み込まれています。

- アプリケーション
  - — dtlogin: ログイン・マネージャ，dtgreet
  - — dthello: ログイン・マネージャとウィンドウ・マネージャとの間に表示される挨拶画面
  - — dtscreen: スクリーン・セーバ画面
  - — dtpad: エディタ
  - — dtclock: デジタル時計
  - — dtsession: セッション・マネージャ
  - — dtstyle: スタイル・マネージャ
  - — dtwm: ウィンドウ・マネージャ，コントロール・パネル
  - — dtfile: ファイル・マネージャ，アプリケーション・マネージャ
  - — dtcalc: 電卓
  - — dticon: アイコン・エディタ
  - — dtcreate: アクション・データベースへの記入項目作成ツール
  - — dthelpview: ヘルプ・ビューア
  - — [セキュリティ]オプション: ローカル・ワークステーションにアプリケーションを表示する許可をユーザに与えるための設定あるいは変更を行う，スタイル・マネージャの新しいオプション
  - — [キーボードの選択]ダイアログ・ボックス
  - — [入力サーバの選択]ダイアログ・ボックス
  - — 保存および復元機能を持つ DECwindows アプリケーション
  - — dthelpgen: フロントパネルのヘルプ・ビューアで表示させる，ヘルプ・ボリューム作成用ユーティリティ
  - — dthelptag: HelpTag 付きのソース・ファイルを実行時ヘルプ・ファイルにコンパイルするアプリケーション
  - — dximageview
- ライブラリ
  - — dthelp: ヘルプ・ユーティリティ機能
  - — dtsvc: 関連ユーティリティ・ルーチン
  - — dtwidget: CDE カスタム・ウィジェット

次の CDE 構成要素が既存の DECwindows Motif アプリケーションに置き換わります。

- dtmail — DECwindows メール・プログラムに置き換わります。
- dtcm — DECwindows カレンダに置き換わります。
- dtterm — DECwindows 漢字端末エミュレータに置き換わります。
- 印刷マネージャ — DECwindows 印刷ウィジェットに置き換わります。

次の CDE 構成要素は，New Desktop には組み込まれていません。

- アプリケーション・ビルダ
- ToolTalk — 内部で一部の ToolTalk 機能をエミュレートする ICCM (Inter-Client Communications Manual) 転送メカニズムを実現していますが，これを基に ToolTalk メッセージ送信サービス API を開発に使用することはできません。
- ウィンドウ処理 Korn シェル

- MIME (多目的インターネット・メール拡張機能) サポート

デスクトップの生産性向上機能

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS は，コンピュータの操作方法を習得しやすい共通の外観および操作性を採用した，統合デスクトップ・アプリケーションを提供しています。

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 では，次のデスクトップ・アプリケーションを利用することができます。

- ブックリーダ — オンラインで配付，格納されているドキュメントの内容を表示するためのツールです。
- 電卓 — 基本的な科学計算用の電卓。
- カレンダ — 個人用のスケジュール管理システム。
- カード管理 — オンラインのアドレス帳や電話帳と同様の，デスクトップのカード索引またはカード式にデータを整理するファイル。
- 時計 — アラーム付きのアナログ式またはデジタル式の時計。
- コンピュータ支援学習 — 初心者の Motif ユーザのためのオンライン・チュートリアル。ユーザは，マウスの使用方法やMotifを使用して簡単な操作を行う方法を学習することができます。
- メール・プログラム — OpenVMS メール・プログラム機能の DECwindows ユーザ・インタフェース。
- メッセージ・ウィンドウ — メール受信の通知やシステム管理者のメッセージなどシステムのメッセージを表示するウィンドウ。
- ノートパッド — 簡素なテキスト・エディタ。
- ペイント — 簡素なビットマップのグラフィックス・エディタ。
- 画面印刷 — 画面の画像を取り込むツール。画像の直接印刷，およびファイルへの保管が可能です。
- パズル — 数字の入ったタイルで遊ぶゲーム。
- DECsound — 録音メッセージ，音声メッセージ，音声メールを再生したり，音声メッセージを文書に組み込んだりできる，使いやすいアプリケーション。なお DECsound の GUI は英語です。 DECsound は TURBO チャネル・システムでのみ使用することができます。

Web ブラウザのサポート

日本語 DECwindows Motif で使用可能な Web ブラウザは，ハードウェア・プラットフォームおよび OpenVMS オペレーティング・システムのバージョンによって異なります。

日本語 DECwindows Motif V1.2–3 ， V1.2–4 ， V1.2–5, V1.2–6 の各ライセンスは， 1 CPU での Netscape Navigator for OpenVMS の使用を許可します。 Web ブラウザのオプションや可用性についての詳細は，『日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS リリース・ノート』を参照してください。

MIT ユーティリティ・プログラムのサポート

MIT ユーティリティ・プログラム，ビットマップ，MIT X11 リリース 4 およびリリース 5 の各種ユーティリティ・ライブラリが，日本語 DECwindows Motif レイヤード製品の DECW$UTILS ディレクトリに置かれています。さらに，日本語 DECwindows Motif では，ウィンドウの内容のキャプキャおよび印刷が可能な XPR (X Print) ユーティリティが提供されています。

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS のヘルプ・システム

日本語 DECwindows Motif のヘルプ・システムでは，従来と同じブックリーダを使用してヘルプを表示したり，ヘルプ情報を取り出したりすることができます。このヘルプ・システムには目次があり，ホットスポットから他のヘルプ・トピックを表示させることもできます。

DECwindows アプリケーションは， DECwindows Motif のヘルプ・システムを使用しています。ヘルプを起動すると，ヘルプ・メニューあるいはコンテキスト・ヘルプからブックリーダが起動して，ヘルプ・トピックが表示されます。

各国語サポート

DECwindows Motif では標準の英語に加え，各国語対応のユーザ・インタフェースが提供されています。オプション製品あるいは対応している各国語の構成が利用可能かどうかについての最新の情報は，最寄りの弊社の各支店/営業所にお問い合わせください。各国語キットについての詳細は，その言語の『ソフトウェア仕様書』を参照してください。また，本書の「注文方法」および「ソフトウェアのライセンス契約」の項も参照してください。

プログラミング支援

日本語 DECwindows Motif 環境には，アプリケーション開発者が利用できる多種多様なプログラミング用のライブラリあるいはツールが組み込まれています。ライブラリは共有可能イメージの形式で提供されています。 CDE Motif 1.0 (OSF/Motif リリース 1.2.5) プログラミング支援ツールは提供されていますが，OSF/Motif リリース 1.1.3，リリース 1.2.2，リリース 1.2.3， XUI プログラミング支援ツールは組み込まれていません。

次の 3 種類に分類されるライブラリが用意されています。

- Xlib あるいは Intrinsics などの標準 X Window System ライブラリ (X ツールキット)。
- Motif ユーザ・インタフェースのスタイルを踏襲した，アプリケーション開発を支援する CDE Motif 1.0 ツールキット。
- 拡張機能を提供する，次のような弊社の付加価値ライブラリ。
  - — Compaq (Digital) OSF/Motif (DXm) 拡張機能
  - — CDA
  - — アプリケーションを，XUI インタフェース用から OSF/Motif ユーザ・インタフェース用に変換する移植ツール。

以上の各構成要素は，アプリケーションの必要に応じてどのようにも組み合わせて使用することもできます。また，各構成要素が種々のプログラミング言語のツールを使用することもできます。

次の各プログラミング言語用の Motif 言語バインディングが用意されています。

- Compaq Fortran for OpenVMS VAX および Compaq Fortran for OpenVMS Alpha
- Compaq Pascal for OpenVMS VAX および Compaq Pascal for OpenVMS Alpha
- Compaq C for OpenVMS VAX および Compaq C for OpenVMS Alpha

さらに， The Open Group 提供の C ヘッダ・ファイルが DEC C++ とともに動作するように変更されています。 Pascal および Fortran の各バインディングが DECwindows Motif キットに含まれており， Compaq Ada for OpenVMS (VAX および Alpha) レイヤード製品では， OSF/Motif の "strongly typed" Ada 言語バインディングが提供されています。

その他のプログラミング支援ツールについては，DECW$EXAMPLES_JA_JP ディレクトリのサンプル・プログラムを参照してください。

- Motif ウィジェット・セットのサンプル・プログラム
- X11 R4 および X11 R5 プログラミング・サンプル (Xlib サンプル)
- 弊社提供のサンプル・プログラム

プログラミング支援ライブラリ

以下の各項ではプログラミング支援ライブラリについて説明します。

X Window System (X) プログラミングによる支援

DECwindows Motif に組み込まれている X Window System 互換 X プログラミング・ライブラリ (Xlib) には，基本的なリソース管理 (ウィンドウ，カラーマップ，入力デバイス) およびビットマップのグラフィックス・サービスが含まれており，プロシージャ・ライブラリには X ネットワーク・プロトコルのマッピングが定義されています。

X Window System Intrinsics による支援

X Window System Intrinsics ライブラリには， X コンソーシアムのリリース 5 (R5) Intrinsics (X ツールキット) が含まれています。 X ツールキットは，ウィジェットというユーザ・インタフェース・オブジェクトの作成を可能とする下位ルーチンを提供しています。

OSF/Motif ユーザ・インタフェースによるプログラミング支援

OSF/Motif は，弊社および他社製のソフトウェア用の DECwindows 仕様のユーザ・インタフェースであり，グラフィックスが含まれるアプリケーションの表現に関する約束とスタイルを制定するものです。アプリケーションは Motif の構成要素を使用して，外観と操作性がほとんど同一のユーザ・インタフェースを構築します。

『OSF/Motif スタイル・ガイド』(Prentice-Hall から出版されている業界標準のリファレンス・マニュアル) では，一貫性のある統合された OSF/Motif アプリケーションを構築するための，原理，原則，構成要素について説明しています。さらに，『OSF/Motif スタイル・ガイド (DECwindows 追補版)』には， OSF/Motif ユーザ・インタフェースのスタイルに関するその他の情報が記載されています。また，日本語 DECwindows Motif で弊社が提供しているその他の機能に関するガイドラインも記載されています。また，英語以外の言語を使用して OSF/Motif アプリケーションを作成する開発者のために，弊社の用語対訳集も記載されています。

OSF/Motif のスタイルのコンセプトは， OSF/Motif ツールキットによって実現しています。 DECwindows Motif には OSF/Motif と XUI の 2 つのツールキットが含まれており， XUI ツールキットだけでなく CDE Motif 1.0 (OSF/Motif リリース 1.2.5)， OSF/Motif リリース 1.2.3，リリース 1.2.2，リリース 1.1.3 の各ツールキットにはアプリケーションの実行時サポートが提供さ

れています。 OSF/Motif ツールキットは X Toolkit Intrinsics をベースにしており，次の 3 種類の構成要素が含まれています。

- スクロール・バー，メニュー，プッシュ・ボタンなど，ユーザ・インタフェースの共通オブジェクトを実現するための OSF/Motif ウィジェットおよびガジェット。
- カット・アンド・ペーストなどの共通操作を実行するための機能を提供する，ユーティリティ・ルーチン。
- ユーザ・インタフェース定義ファイルを読み込んで，定義ファイルの内容を基にしてウィジェットやガジェットを作成するための，リソース・マネージャ・ルーチン。

OSF/Motif ツールキットは，OSF/Motif の UIL (ユーザ・インタフェース言語) コンパイラとともに使用されます。このコンパイラが作成するユーザ・インタフェース定義ファイルには，DECwindows アプリケーションの形式を説明するデータが含まれています。これらの UIL ファイルにより，メニュー項目名などの OSF/Motif ツールキットのウィジェットおよびガジェットに関するデータを，ツールキットおよびアプリケーションの実行時コードとは別に保存することもできます。この機能により，アプリケーション開発者はユーザ・インタフェースのプロトタイプを設計して，簡単に変更したり，アプリケーションの機能と形式を別にしたり，ソース・ファイルの再コンパイルが不要な変換可能ソフトウェアに対応することができます。

Compaq OSF/Motif 拡張機能

日本語 DECwindows Motif 製品には，OSF では用意されていない弊社独自に開発したウィジェットおよび実行時ルーチンが付け加えられているため，標準 OSF/Motif よりも高機能なものとなっています。次の各ウィジェットにより，DECwindows の一般的に使用される一部の機能で，共通の DECwindows インターフェースを実現しています。

- ユーザが種々のカラー・モデルを使用して色の選択，および混ぜ合わせを可能とする，カラー・ミックス (Color Mix)・ウィジェット。
- 英語以外の言語で左から右へ書く文字セットだけでなく，右から左へ書く文字セットをサポートする，複合文字列テキスト (Compound String Text)・ウィジェット。
- アプリケーションが一貫した方法で該当するヘルプ・テキストを表示できるようにする，ヘルプ (Help)・ウィジェット。このウィジェットは，旧バージョンの DECwindows Motif for OpenVMS V 1.0 とも互換性があり，DECwindows Motif のヘルプ・システムに置き換えられたものです。
- アプリケーションが一貫した形式でファイルを印刷できるようにする印刷 (Print) ウィジェット。
- 階層情報を表示するためにアプリケーションが使用する SVN (Structured Visual Navigation) ウィジェット。

実行時ルーチンには，ユーザがブックリーダを使用してオンライン・ヘルプ・ファイルを表示できる，日本語 DECwindows Motif ヘルプ・システムの 3 種類の呼び出しルーチンがあります。

変換イメージ環境 (Alpha のみ)

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha では， DECwindows Motif V 1.1 および XUI VAX のイメージをバイナリ変換したプログラムを動作できるようにする，一連のサービスが提供されています。これらのプログラムは日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha システムではほとんどすべてのユーザ・モード機能を実行することができますが，変換イメージとともに使用される日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha の共有可能イメージは，固有のイメージとともに使用される共有可能イメージとは異なり，互換性がありません。日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha のソフトウェアを使用する固有のイメージおよび変換イメージは， 1 つのプロセス内で共用することはできません。

特別のソース・コードを必要とすることなく， TIE (変換イメージ環境) が浮動小数点レジスタ，条件コード，例外処理， AST などの VAX アーキテクチャと Alpha アーキテクチャ間の相違点を自動的に修正します。

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha で提供される TIE は，他のマシンで変換されたイメージを実行することができます。

XUI から Motif への移植ツール

プログラマ用に，アプリケーションを Motif へ移植しやすくするためのツールが用意されています。これらのツールは，入力ソース・ファイルに現れる XUI 名を正しい Motif 名に置き換えます。

CDA (複合ドキュメント・アーキテクチャ) プログラミング・サポート

CDA ツールキットは，複合テキスト，グラフィックス，イメージを含むような複合ドキュメント・ファイルをアプリケーションが作成したり，読み書きするためのアクセス・ルーチンを提供します。この複合ドキュメント・ファイルは，単にこのような情報をディスク上に保存するためだけではなく，アプリケーション間でのデータ交換や，高解像度のグラフィックス印刷のための中間ファイルとしても使用することができます。

機能強化した X ウィンドウ Display PostScript (XDPS)

DECwindows Motif の以前のバージョンで提供されていた Display PostScript システムは，日本語 DECwindows Motif V1.2-6 からは提供されません。詳細については，『日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS リリース・ノート』を参照してください。

OpenVMS 拡張サポート用 DECwindows X11 ディスプレイ・サーバ

OpenVMS VAX および OpenVMS Alpha の両オペレーティング・システムで X11 サーバのプロトコルが実現されています。 OpenVMS VAX V6.0 の時点では，OpenVMS VAX の X11 ディスプレイ・サーバは，すべての X11 プロトコルに加えて，リリース 4 (R4) およびリリース 5 (R5) の多くの基本コードと拡張オプションのいくつかをサポートしています。これに対して，OpenVMS Alpha の DECwindows X11 ディスプレイ・サーバは，X ウインドウ・システムのバージョン 11 リリース 6 (X11R6) ディスプレイ・サーバの直接的な移植版で，いくつかの拡張オプションが付いています。

DECwindows X11 ディスプレイ・サーバは OpenVMS VAX および OpenVMS Alpha オペレーティング・システム・キットのオプション製品です。 DECwindows X11 ディスプレイ・サーバは，デバイス・ドライバおよびフォントも含めて，OpenVMS VAX または OpenVMS Alpha オペレーティング・システムのインストレーションの際に，選択してインストールすることができます。

DECwindows X11 ディスプレイ・サーバでは，以下の拡張をサポートしています。これらの拡張のクライアント・ライブラリは，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS VAX および Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha のレイヤード製品に含まれます。

- AccessX (Alpha のみ):

  当社の定義による "AccessX"は，X サーバを拡張して，身体の不自由なユーザのためにキーボード機能を強化します。

- MITmisc:

  X コンソーシアムの定義による "MIT-SUNDRY-NONSTANDARD"は，ユーザがサーバのバグ互換性モードを選択，設定できるようにします。

- MIT-SHM (Alpha のみ):

  X コンソーシアムの定義による "MIT-SHM"は，メモリ上の X イメージをクライアントおよびサーバが共用することを可能にします。

- Multibuffering:

  X コンソーシアムの定義による "Multi-Buffering"は，ディスプレイ・サーバを拡張してマルチ・バッファ・イメージに対するサポートを実現します。

- Shape (Alpha のみ):

  X コンソーシアムの定義による "SHAPE"は，通常の四角なウィンドウ以外の形のウインドウをプログラムが作成することを可能にします。

- X Imaging Extension (バージョン 3):

  弊社が定義し，X コンソーシアムに登録されている "XIE"は，ディスプレイ・サーバを拡張して，ISL (Image Services Library) のイメージ操作のためにハードウェアまたはソフトウェアのサポートを提供できるようにします。

- XTRAP:

  弊社で定義し，X コンソーシアムに登録されている "DEC-XTRAP"は，ディスプレイ・サーバを拡張して，DTM (Compaq Digital Test Manager) のような自動試験用プログラムに対するサポートを実現します。

日本語 DECwindows Motif for OpenVMS のドキュメント

日本語 DECwindows Motif のドキュメントは，ユーザ・ドキュメント・セットとプログラマ・ドキュメント・セットから構成されています。どちらのドキュメント・セットも DECwindows Motif for OpenVMS VAX と OpenVMS Alpha の両方のオペレーティング・システムに対応しています。

プログラマ・ドキュメントには業界標準のリファレンス・マニュアルと，Compaq 作成の DECwindows Motif 固有のドキュメントがあります。日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2-6 キットでは，Compaq 作成のドキュメントだけが一緒に出荷されます。

ドキュメントはハードコピー版と CD-ROM の両方で提供されています。 DECwindows Motif for OpenVMS を CD-ROM で注文する場合には，Compaq 作成のユーザ・ドキュメントとプログラマ・ドキュメントの両方が Bookreader 形式で届けられます。 DECwindows Motif を磁気テープ・メディアで注文する場合には，ハードコピー版のユーザ・ドキュメントのみが届けられます。プログラマ・ドキュメントは別に注文する必要があります。

CDE ドキュメント

CDE (共通デスクトップ環境) のマニュアルは，New Desktop のサポートで提供されます。これらのマニュアルは，DECwindows Motif の CD-ROM キットに HTML 形式で格納されており，ブラウザで読むことができます。日本語 DECwindows Motif のハードコピー版のドキュメント・セットには含まれていません。

CDE のドキュメントとリファレンス・ページに記述されているすべての情報が New Desktop に当てはまるわけではないことに注意してください。 New Desktop についての正確な説明は，『New Desktop 使用概説書』を参照してください。

DECwindows Motif のドキュメントについての説明は，『Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Documentation Overview』を参照してください。

必要なハードウェア

日本語 DECwindows Motif は対応する任意のプロセッサ上で実行することができますが，ディスプレイ装置としてワークステーション， Microsoft Windows ベースのパソコン，マッキントッシュ， X 端末のいずれかが必要です。以上のディスプレイ装置は， X Window System V 11 リリース 4 (R4) あるいはリリース 5 (R5) 準拠のディスプレイ・サーバを実行していることが必要です。

対応している VAX プロセッサおよび Alpha プロセッサ

DECwindows Motif は OpenVMS VAX および OpenVMS Alpha の両オペレーティング・システムの『ソフトウェア仕様書』(Alpha の場合は SPD 41.87.xx，VAX の場合は SPD 25.01.xx) に記載されているすべての VAX および Alpha プロセッサに対応しています。また，「対応していないプロセッサ」の項に記載されたプロセッサの一部の例外にも対応しています。

対応していないプロセッサ

以下のプロセッサでは日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS VAX V1.2–6 の処理速度が遅くなるため，対応していません。

MicroVAX II
MicroVAX 2000
VAXstation II
VAXstation 2000
VAXstation 8000
VAX–11/725
VAX–11/730
VAX–11/750
VAX–11/780
VAX–11/782
VAX–11/785

ディスクの必要な空き容量 (ブロック・クラスタ・サイズ単位)

Alpha システムの場合

日本語 DECwindows Motif のインストールに必要な空き容量	105,000 ブロック
日本語 DECwindows Motif の永続的な使用に必要な空き容量	103,000 ブロック

日本語 Compaq OpenVMS Alpha および日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha の全機能をサポートするには，最低 550 MB 以上が望ましいシステム・ディスクの空き容量です。ただし，日本語 DECwindows Motif 環境のサブセットもインストールすることができます。日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha V1.2–6 をインストールすると，次の構成要素の全部，または任意のものを選んでインストールすることができます。

- 実行時サポート・ファイル (基本キット) — 30,300 ブロック。これは日本語 DECwindows Motif for OpenVMS Alpha の各アプリケーションの Alpha 演算サーバ上での実行時サポートを提供するもので，インストールに不可欠な構成要素です。
- New Desktop — 18,500 ブロック。これは，New Desktop 環境を使用できるようにするオプションの構成要素で，アプリケーションや API (アプリケーション・プログラミング・インタフェース) が入っています。
- 変換イメージ・サポート — 11,500 ブロック。
- キーマップ —700 ブロック。このオプションにより，日本語専用キーボードに対応できるようになります。
- 75 DPI フォント —24,800 ブロック。 75 DPI ディスプレイ装置用の日本語表示フォント。
- 100 DPI フォント —19,000 ブロック。 100 DPI ディスプレイ装置用の日本語表示フォント。

VAX システムの場合

日本語 DECwindows Motif のインストールに必要な空き容量	55,000 ブロック
日本語 DECwindows Motif の永続的な使用に必要な空き容量	53,000 ブロック

日本語 Compaq OpenVMS VAX および日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS VAX の全機能をサポートするには，最低 300 MB 以上が望ましいシステム・ディスクの空き容量です。ただし，日本語 DECwindows Motif 環境のサブセットもインストールすることができます。日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS VAX V1.2–6 をインストールすると，次の構成要素の全部，または任意のものを選んでインストールすることができます。

- DECwindows Motif 実行時サポート・ファイル (基本キット) — 24,000 ブロック。これは日本語 DECwindows Motif for OpenVMS VAX の各アプリケーションの VAX 演算サーバ上での実行用のサポートを提供するもので，インストールに不可欠な構成要素です。 DECwindows デスクトップの各アプリケーションとライブラリが入っています。
- キーマップ —200 ブロック。このオプションにより，日本語専用キーボードに対応できるようになります。
- 75 DPI フォント —16,800 ブロック。 75 DPI ディスプレイ装置用の日本語表示フォント。
- 100 DPI フォント —14,000 ブロック。 100 DPI ディスプレイ装置用の日本語表示フォント。

以上のブロック単位のサイズは，システム・ディスクに必要な空き容量を表します。記載のサイズは概算値で，実際のサイズはご使用のシステムの環境，構成，ソフトウェアのオプションなどにより異なる場合があります。

必要なメモリ

Alpha システムの場合

システム・ユーザが日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha を，日本語 Compaq OpenVMS Alpha にインストールして起動し，ログインするために最低限必要なメモリは 64 MB ですが, より高速に処理するには 128 MB を装着することを推奨します。アプリケーションを遠隔で実行するには，アプリケーションをローカル・ワークステーションで表示中に，そのアプリケーションを実行するもう 1 つのシステムが必要です。

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha を実行中の日本語 OpenVMS Alpha システムの処理速度およびメモリ使用量は，システムの構成とウィンドウやアプリケーションの使用量により異なります。

なお，日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS Alpha の今後のバージョンでは，必要なメモリ量が変更される場合があることにご注意ください。

VAX システムの場合

システム・ユーザが日本語 Compaq DECwindows Motiffor OpenVMS VAX を，日本語 Compaq OpenVMS VAX にインストールして起動し，ログインするために最低限必要なメモリは 16 MB ですが，より高速に処理するには 32 MB を装着することを推奨します。アプリケーションを遠隔で実行するには，アプリケーションを表示させるローカル・ワークステーションとともに，そのアプリケーションを実行するための 1 つのシステムが必要です。

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS VAX を実行中の日本語 OpenVMS VAX システムの処理速度とメモリ使用量は，システムの構成とウィンドウおよびアプリケーションの使用量により異なります。

なお，日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS VAX の今後のバージョンでの必要なメモリ量は，変更される場合があることにご注意ください。

複数画面構成のサポート

Alpha システムでは，複数画面構成が複数のグラフィックス・オプションをサポートする 1 台のワークステーションから構成されます。グラフィックス・オプションは，グラフィックス・コントローラおよびモニタから構成されます。複数画面構成では，すべてのグラフィックス・カードが同じモデルでなければならないことに注意してください。複数画面をサポートするワークステーションについての詳細は，最寄りの弊社の各支店/営業所に問い合わせるか，または次の URL から製品情報を参照してください。

```
http://www.compaq.com
```

周辺装置

VSXXX-AB	タブレット (マウスに代わる)
VSXXX-JA	ヘッドホン
VSXXX-AA	マウス
VSXXX-FA	マウス

クラスタ環境

本レイヤード製品は，正規のライセンスを持つ OpenVMS Cluster 構成の上にインストールされている場合，機能上の制限を受けません。本ソフトウェアで必要とされるハードウェアについては「必要なハードウェア」の項に記述されているとおりです。

注意: VAXcluster 構成については『OpenVMS Cluster Software Product Description』(SPD 29.78.xx) に詳しく説明されています。また，この構成には CI, Ethernet および Mixed Interconnect 構成が含まれます。

必要なソフトウェア

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS V1.2–6 は，次のオペレーティング・システムに対応しています。

- OpenVMS VAX V5.5–2 および日本語 OpenVMS VAX V5.5–2
- OpenVMS VAX V6.2 および日本語 OpenVMS VAX V6.2
- OpenVMS VAX V7.1 および日本語 OpenVMS VAX V7.1
- OpenVMS VAX V7.2 および日本語 OpenVMS VAX V7.2
- OpenVMS VAX V7.3 および日本語 OpenVMS VAX V7.3
- OpenVMS Alpha V6.2 および日本語 OpenVMS Alpha V6.2
- OpenVMS Alpha V7.1–2 および日本語 OpenVMS Alpha V7.1–2
- Compaq OpenVMS Alpha V7.2–1 および日本語 Compaq OpenVMS Alpha V7.2–1
- Compaq OpenVMS Alpha V7.3 および日本語 Compaq OpenVMS Alpha V7.3

なお，OpenVMS V6.2 以降では対応するバージョンの OpenVMS I18n キットもインストールする必要があります。

オプション・ソフトウェア

- Compaq PATHWORKS 32 (SPD 56.33.xx)
- 日本語 Compaq TCP/IP Services for OpenVMS (SPD 46.46.xx)
- Compaq DECnet-Plus for OpenVMS (SPD 25.03.xx)
- Compaq DECnet for OpenVMS (Phase IV) (SPD 48.48.xx)

今後のバージョンで必要なハードウェアおよびソフトウェア

今後のバージョンで最低限必要なハードウェアおよびソフトウェアは，現行バージョンのものとは異なる可能性があります。

提供媒体

日本語 Compaq DECwindows Motif V1.2–6 ソフトウェアは次の媒体でスタンドアロン・レイヤード製品として提供されます。

- CD–ROM

また，この製品はOpenVMSソフトウェア・プロダクト・ライブラリ (Consolidated Software Distribution) の CD-ROM でも提供されています。

注文情報

詳細については，最寄りの弊社の各支店/営業所までお問い合わせください。

ソフトウェア・ライセンス契約

本ソフトウェアはライセンス契約に基づいてのみ提供されます。弊社のライセンス契約の諸条件と諸方針についての詳細は，最寄りの弊社の各支店/営業所までお問い合わせください。

VAX または Alpha ワークステーションをお買い上げの際に，Compaq DECwindows Motif for OpenVMS ライセンス製品の使用許可キー (PAK) を提供します。

メディア・キットやオンライン・ドキュメント・キットは，ソフトウェア・インストール済みシステム (FIS) には付属していません。

ライセンス管理機能のサポート

日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS では，OpenVMS LMF (ライセンス管理機能) をサポートしています。日本語 Compaq DECwindows Motif for OpenVMS のライセンス・ユニットは，システムの無制限の利用ベースと個人利用ベースに割り当てられます。個人の場合は，認定された個人利用ライセンスを受けた方だけがレイヤード製品を使用できるようになります。

ライセンス管理機能についての詳細は，OpenVMS VAX あるいは OpenVMS Alpha オペレーティング・システムの『ソフトウェア仕様書』(Alpha の場合は SPD 41.87.xx，VAX の場合は SPD 25.01.xx)，または OpenVMS VAX および OpenVMS Alpha オペレーティング・システム関連のドキュメントを参照してください。

ソフトウェア保証

本ソフトウェアについては，弊社所定のソフトウェア保証基準に定められた保証が提供されます。

ソフトウェア製品サービス

弊社では，さまざまなサービス・オプションを提供しています。詳細については，最寄りの弊社の各支店/営業所にお問い合わせください。

© 2001 Compaq Computer K.K.

COMPAQ および Compaq ロゴは米国 Patent and Trademark Office に登録されています。

DECnet および OpenVMS は Compaq Information Technologies Group, L.P の商標です。

Microsoft, Windows, および Windows NT は米国 Microsoft 社の商標です。

Motif, UNIX および The Open Group は The Open Group の商標です。

その他，ここに記載されているすべての製品名はそれぞれの会社の商標または登録商標です。

本書に記載されている事項は，予告なく変更されることがありますので，あらかじめご承知おきください。万一，本書の記述に誤りがあった場合でも，コンパックは一切その責任を負いかねます。